

平成29年度東京消防庁危険物安全週間実施概要

1 東京消防庁危険物安全標語

「危険物 ルールを守って 安全に」(作者 やまぐち やすし さん 新宿区在学)

2 重点推進事項

(1) 都民一般への普及啓発

危険物品に係る事故事例からの教訓等が生かされるよう、都民一般に対して次の事項を重点として普及啓発を行います。

ア 災害時、屋外催しの開催時等に使用するガソリン、灯油等の適切な取扱方法及び運搬方法並びにこれら燃料が原因で火災が発生した場合の消火方法

イ 高濃度アルコール飲料、手指消毒用アルコール、アロマオイル、エアゾール缶、カセットボンベその他身の回りの危険物品の、容器の注意表示及び正しい貯蔵取扱方法

ウ 危険物品の貯蔵量及び取扱量に応じて必要となる許可申請及び届出

(2) 危険物施設等を有する事業所への自主保安体制の指導及び普及啓発

危険物施設等を有する事業所の関係者、危険物取扱者及び危険物の取扱作業に従事する者に対して、次に掲げる事項を重点として行います。

ア 重大事故(死者が発生した事故等)を防ぐため、過去重大事故が発生した施設に対し、施設の安全化に向けた指導

イ 事故の発生状況を踏まえた保安対策として、次の事項の指導

○ 適切な維持管理及び監視体制並びに誤操作の防止

○ 給油取扱所における顧客の車両操作、除電措置及び給油作業等の監視

3 広報活動

都民に対しては、あらゆる機会を捉えて危険物に関する理解を深めてもらえるようポスター、ホームページ、ツイッター及びフェイスブック等により広報するとともに、区市町村等の関係機関との連携及びケーブルテレビをはじめとするマスコミへの協力依頼等を積極的に行い、効率的かつ地域と一体となった広報活動を実施いたします。

4 自衛消防訓練及び消防演習

危険物施設を有する事業所等において、危険物災害に対応する自衛消防訓練の指導及び自衛消防隊と消防隊が連携した実戦的な消防演習を実施する消防署があります。

5 その他

危険物安全週間中に開催される講習会等の日程等につきましては、最寄りの消防署にお問合せください。



平成29年度危険物安全週間ポスター

非常用発電設備の事故防止について



東京消防庁予防部危険物課

1 はじめに

東日本大震災以降、震災時等の電力供給に備えて非常用発電設備を設置するケースが増えています。非常用発電設備は、災害時等に使用するものなので、平常時に事故は起きにくいですが、東京消防庁管内で平成28年中に2件の事故が発生したことから、当該事故の概要を紹介します。

2 中間免震層に設置された非常用発電設備の煙道用免震継手が焼損した火災

新築工事中の高層建築物の中間免震層において、一般取扱所である非常用発電設備の煙道で当該免震層を貫通する部分に設置された煙道用免震継手が焼損しました。

出火原因は、当該免震継手の製造メーカーから製造を委託された業者が、製作図どおりに製造しなかったため、耐火性能が不十分となり、非常用発電設備を試運転した際に生じた排気熱により、当該免震継手が焼損したものです。



写真1 焼損した煙道用免震継手



写真2 焼損した免震継手内部の状況

3 高層建築物の屋上に設置された非常用発電設備から多量の危険物が流出した事故

高層建築物の屋上に設置された非常用発電設備（少量危険物貯蔵取扱所）において、非常用発電設備と燃料タンクを繋ぐ燃料送油配管が破断し、燃料タンク内のA重油約1,500Lが屋上に流出した事故です。

この非常用発電設備は防振架台上に設置されており、この防振架台の揺れによる変位

を吸収するため、燃料送油配管の非常用発電設備との接合部直近に緩衝装置（可撓管継手）が設置されていました。しかしながら、当該緩衝装置の機能を阻害する位置に配管を支持するブロックが設けられていたため、非常用発電設備が強風で防震台上を移動した際に燃料送油配管が破断したものです。

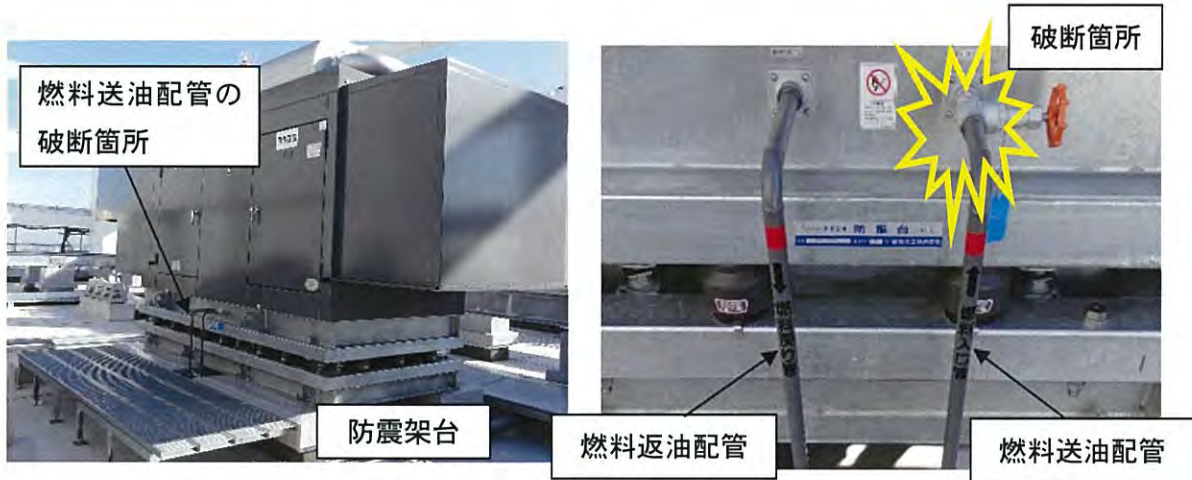


写真3 流出事故が起きた屋上発電設備（事故発生前）

写真4 燃料配管の破断箇所（事故発生前）

4 おわりに

非常用発電設備には、震災後に運転し電力を供給する役割があります。非常用発電設備からの出火、地震等の揺れによる危険物配管の損傷等により発電が止まると事業に重大な影響を及ぼしかねません。

設置工事を行う業者の皆様は、安全側に立った設計・施工をしていただくとともに、設置した事業所の皆様は、非常用発電設備の適正な維持管理を徹底してください。危険物安全週間の機会にぜひ施設・設備の再点検を行っていただくようお願いいたします。



東京消防庁

東京消防 (関東) <http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

消防庁 消防庁 消防庁 R100

6月4日（日）から6月10日（土）は危険物安全週間です